

おらだの声

発行者:米沢市認知症地域支援推進員

問合先:高齢福祉課地域包括支援担当

☎22-5111

9月は認知症月間です

令和6年1月1日に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では、9月21日を「認知症の日」、9月を「認知症月間」と定めています。

この期間を中心に、認知症への理解を深め、認知症の人やその家族が安心して暮らせる地域づくりを目指して、世界各地で認知症に関する啓発活動が行われています。

認知症について正しく知り考えてみませんか？

認知症は、これまで「何もできなくなる病気」というイメージを持たれることがありました。しかし、政府が策定した「認知症施策推進基本計画」の中で、「新しい認知症観」が示されました。

「新しい認知症観」とは・・・

認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。



古い認知症観	新しい認知症観
他人ごと	自分ごと
何も分からなくなる、 できなくなる	分かること、できることが 豊富にある
地域で暮らすのは無理	地域の一員として暮らし、 活躍できる
あきらめ、絶望的	あきらめない、希望がある



認知症になっても、自分らしく暮らしたい！！

認知症の人の声を紹介します

愛犬と散歩をはじめて10年



日々の運動とあわせ畑仕事を続けています。介護予防のデイサービスにも通いながら、友人・知人と過ごす時間も大切にしています。家の中にだけいては人と話す機会も限られるため、認知症進行予防のためにも交流を続けることが大切だと思う。



趣味の魚釣り

これからも続けていきたい。

認知症サポーター養成講座受講者の声を紹介します

- ・ おもい気持ちがなんとなく前向きに上に向いた。私は私なりに声がけし、最後までやさしく見守っていかうと思った。
- ・ 認知症気味の父親にあてはめながら話を聞いた。不安ではあるが、米沢にはたくさんサポートしてくれるところがあると知り安心した。
- ・ アルツハイマー型認知症の家族を10年介護し昨年看取った。介護する前に知っていたらもっと上手に対応できたかもしれないと思うこともあった。これからは自分の経験を活かして地域の方をサポートしていけたらいいと思った。

認知症サポーター養成講座は、認知症に関する基礎的な知識、認知症の人への対応を学びます。お気軽に御参加下さい。

申し込み：高齢福祉課地域包括支援担当 22-5111 内線 3907

受講
無料

開催日時		会場	定員
9月10日(木)	10:00～11:30	置賜総合文化センター	20名
11月11日(水)	14:00～15:30	米沢市すこやかセンター	20名